

教育目標及び教育方針

1. 能登町教育の基本方針

(1) 基本理念

～「能登」の地と人に学び

未来を拓くたくましい力をはぐくみ “一步前へ進む人づくり”～

(2) めざす人間像

- ①確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間
- ②責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな人間
- ③健康や体力の増進に積極的に取り組む、活力ある人間
- ④ふるさとに誇りを持ち、広い視野にたって社会に貢献する人間

(3) 教育基本方針

- 基本方針1 まちの未来を担う人材を育てる学校教育の推進
- 基本方針2 学ぶことに興味を抱ける生涯学習活動の推進
- 基本方針3 郷土への愛着を醸成する地域文化・文化遺産の振興と継承
- 基本方針4 健康で豊かな人間性を育てるスポーツ・レクリエーションの充実
- 基本方針5 国際社会に対応できる人材育成と国際交流の推進

(4) 重点とする取組

- ①安全・安心な教育環境の構築
- ②学ぶことの楽しさを体得できる学習活動の工夫
- ③情報リテラシーの向上と生徒のスキルアップ
- ④地域の資源を生かした海洋教育の工夫改善
- ⑤外国語の学習意欲を高めるための授業実践の推進

第2期 能登町教育振興計画（抄）

本町のまちづくりの基本姿勢は「人をつなぎ、地域をつなぎ、未来へつなぐまちづくり」を基本目標に、これまでに進めてきた施策を未来につなぎ「未来の能登町を担う人づくり」を進めています。本町の教育においては「人づくり」を重要なものとし、本計画においてもめざす人間像、教育基本方針を定めています。

2. 柳田中学校経営方針

(1) 学校教育目標

「自ら学び、たくましく生きる、心豊かな生徒の育成」

※新学習指導要領

「社会の創り手となり、よりよい人生を送るための資質能力の育成

※第3期 石川の教育振興基本計画 教育基本理念

「未来を拓く 心豊かな人づくり」

(2) 学校経営方針

- ①国・県・町の教育理念を踏まえ、豊かな心や郷土を愛する心や、新しい時代に必要な資質・能力を育む学校づくりを目指す
- ②学校教育目標の実現に向け、教職員が連携し、協働的に教育活動に取り組む集団を目指す。
- ③生徒に確かな学力を保障するため、常に自己研鑽に励み、結果に責任を持つプロ意識の高い教師集団を目指す。

(3) 目指す生徒像

- | | |
|--------------------------|------|
| ①何事にも向上心や目標をもってチャレンジする生徒 | 《進取》 |
| ②人を思いやる心をもち、助け合う生徒 | 《協調》 |
| ③目標の実現に向けて粘り強く努力する生徒 | 《努力》 |

(4) 目指す学校像

- 「安心・安全な学校」
- 「確かな学びを保障する学校」
- 「地域から信頼される学校」

(5) 目指す教師像

- ①生徒の良さを伸ばし、生きる力を育むことができる教師
 - ・「励まし、させてみる、褒める」この経験を通して成長につなげる
 - ・明確で分かりやすい指導ができる力を身に付ける
 - ・長所を認め、公平公正な評価を通して、子どもの意欲を喚起する
- ②指導力向上に努め、確かな学力を保障できる教師
 - ・常に、教師としての専門性を高め、プロとして職務に従事する
 - ・問われている資質・能力を日頃の授業でつけていく
 - ・この学習によって「何が分かるのか」「何ができるようになるのか」の考え方に基づいた指導をする
- ③保護者や地域との信頼関係を築くことができる教師
 - ・教育公務員として、法令を遵守し、自覚をもって行動する
 - ・保護者と連携を密にし、積極的に情報の交流を図る
 - ・地域との交流体験を通してキャリア教育を推進していく
- ④教職員相互に連携し、協働的に教育活動に取り組むことができる教師
 - ・先ずは個人個人が責務を果たすことで信頼関係を築く
 - ・指示を待つのではなく、自分の考えをもって相談する
 - ・目標を共通理解し、教職員のベクトルを合わせる
 - ・ワークライフバランスの取れた教育活動を推進するためにも、業務を一人で抱え込まず、相談しやすい職場環境を作り上げる

(6) 学校スローガン

「**共に学び 共に笑い 共に歩む学校**
～凡事徹底 「時を守り」・「場を清め」・「礼を正す」～

生徒一人一人が安心して自分らしくいられ、さらに生徒・先生・地域が協力し合うつながりと協力を大切にしながら各自の個性、自由を尊重する

(7) 取組重点

I 安心・安全な学校づくり

①望ましい人間関係づくり

- ・生徒に自分の良さに気づかせ、認め、励まし、伸ばす教育活動の推進
- ・学びあいや関わりあいを大切にした教育活動の推進
- ・生徒の自主性を育てる生徒会活動、学級活動、学校行事の推進
- ・QJ、いじめアンケート等を活用し、全職員で早期対応、早期解決へ取り組む
- ・改定「生徒指導提要」を基に生徒の支援の視点に立ち、成長発達を支援しながら社会性の育成に努める

②道徳教育の推進

- ・特別の教科道徳を基盤として、自己肯定感・自己有用感を高め、自分の良さに気づくことができる教育活動に取組
- ・地域人材を活用し、職業人講話などを中心としてキャリア教育を推進

③豊かな心を育む教育活動の推進

- ・ふるさとを愛する心を育むための地域行事への参加
- ・学びを深める海洋教育の充実

④健やかな身体の育成

- ・望ましい生活習慣や食習慣のための啓発活動
- ・3点固定の指導（起床時間・就寝時間・家庭学習開始時間）
- ・体力アップ1校1プランを活用した体力の向上
- ・保健体育の授業や部活動指導の充実

⑤安全管理体制の充実

- ・職員の危機管理意識の高揚と**報告・連絡・相談・記録の徹底**
- ・感染症や地震などの災害に備えた連絡体制を整備
- ・校舎内外の安全対策の徹底
- ・いじめ・不登校の未然防止、早期発見・解決のための組織的な対応
- ・個を大切にする教育相談体制の充実
- ・いじめ対応アドバイザー、SC、関係機関との連携
- ・情報リテラシーの向上と生徒のスキルアップを図る

Ⅱ 確かな学力を保障する学校づくり

①組織的・継続的な学校研究の推進 「わかる」「できる」

- ・学力向上ロードマップ・学力向上プランの推進
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進
- ・「授業のねらいの達成」の実践

②基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着

- ・「単元テスト」できるまで繰返し行う
- ・補充学習などによる個に応じたきめ細かな指導
- ・各種コンテストや各種検定合格を目指した取組の充実

③よりよい家庭学習習慣・生活習慣の確立

- ・授業と連動した家庭学習の課題の与え方を工夫。また、その予習を生かした授業を展開
- ・保護者や小学校と連携した「ノ一画面ウィーク」の確実な実施

Ⅲ 組織力の向上・人材育成

①組織的な取組の推進

- ・主任を中心とした組織的な校内指導体制の確立
- ・課題、目標、方向性を共通理解し、みんなで取り組む
- ・教育活動や課題に迅速にチームとして対応する
- ・各種評価（学力調査等）を生かした取組の改善

②職員の資質・能力の向上

- ・定期的な校内研修
- ・人事評価制度の活用
- ・全教員による若手育成プログラムの実践と検証

③業務改善による働き方改革の見直し

- ・業務の平準化、共有データの活用と蓄積、検索時間の短縮
- ・相互授業参観の設定。授業の改善点を伝えることによる授業力向上
- ・会議の目標時間の設定、ポイントを絞った提案
- ・月2回の定時退校日、平日1日週休日1日の部活動休養日の確実な実施
- ・ワークライフバランスのとれた教育活動の推進
- ・相談体制の充実と気軽に相談できる雰囲気づくり

Ⅳ 保護者や地域から信頼される学校づくり

①ホームページや各種便りによる教育活動の積極的な情報発信

②授業参観（学期に1回）、学校公開の実施、開かれた学校づくり

③地域行事や地域のボランティア活動への参加

④小中連携及び地域との連携を推進

⑤学校評価を生かした学校運営の改善

⑥学校、地域、家庭の双方向の情報交流による信頼関係の構築